

私のふくい探訪

福井の
豊かな未来は
すぐそこに

昭和43年、明治100年記念国体とも云われた、先の福井国体から50年後の平成30年に再び故郷福井で国体が開催されます。当時は中学1年生、ブラスバンド部の一員として、競技会場での演奏のため、仲間と汗だくになって練習を重ねた日々を思い出します。中学生の自分ながらも、新しく建設された福井運動公園内の近代的な各種競技施設や市内の随所にはためく小旗を見て、福井にも新しい時代が到来したと強く感じたものでした。

時は日本が高度経済成長へと進む、序章期とも言われた時代だった。

たのでしよう。日本の津々浦々で「辛くても頑張れば、きつと良くなる」と信じて必死に働く事が家族のため、組織のため、そして社会のために大切であると、固く信じられていたのだと思います。

現在の職務柄、様々な国、特にアジア太平洋諸国へは就任以来、多くの国々を廻り、空軍司令官や参謀長との交流の合間を見つけては街に繰り出しました。そこには純朴で明るい表情で遊ぶ子供達や赤銅色に日焼けしながら必死に働く

大人達の姿がありました。

平成の日本では中々見られなくなった、謂わば「必死で頑張っている社会」が彼の地ではしつかりと存在しています。平成の日本に較べると社会全体は決して豊かではなく、所謂底辺層で貧困に喘ぎながら生きていく多くの人が存在する事も事実です。しかしながら、彼の地は今も豊かではなくても、かつての日本がそうであった様に、進歩はゆっくりでも必ず豊かになるに違いないと思つてやみません。

未来は今を頑張る大人達と、それを毎日見つめている子供達の手で創られます。

故郷福井は子供達の学力や運動能力は全国トップレベルにあり、出生率や世帯の収入、持ち家率等の幸せ度や暮らし易さもトップレベルにあります。更には独自の技術に裏打ちされた競争力ある企業も多く存在しています。

故郷福井には、豊かな未来を掴むためには不可欠でかつ多様な要件が既に揃っています。

福井の豊かな未来は、幸せ度や暮らし易さをトップレベルにまで引き上げてきた今の大人達が引き続き努力を怠らず、素晴らしい福井の子供達へとしっかりと継承していく事にかかっていると思うのです。

私も福井の外から懸命に応援する一人です。



防衛省 航空幕僚長
さいとう はるかず
齊藤 治和

1956年、福井県旧清水町生まれ。防衛大学校卒業後、1978年航空自衛隊入隊。戦闘機操縦士として任務に従事。小松基地司令、北部航空方面隊司令官、航空総隊司令官などを歴任後、2013年から航空幕僚長。

エネルギー とことん

意見広告

資源の乏しい日本が未来に向け成長・発展していくためにも、エネルギー問題は重要です。原子力の重要性和必要性について、国は改めて方針を明確にし、広く国民理解を得ていく必要があります。

福井県経済団体連合会 会長 **川田 建男**

福井県環境・エネルギー懇話会
〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F
TEL.0776-33-7050

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会

検索

次回掲載は

杉山 秀二氏 8月30日(日)掲載予定

※掲載日は前後する場合がございます。ご了承ください。